

## 2021年度 地域の課題解決プロボノプロジェクト

### 地域の課題解決 入門講座 開催レポート

2022年3月31日

認定 NPO 法人サービスグラント

#### 1. はじめに

町会・自治会は地域住民の互助のシステムとして中核的な役割を担っていますが、同時に高齢化や加入率の低下等様々な問題を抱えていると言われていています。一方で、「いろんな世代が集えるような場づくりに取り組みたい」、「新しく引っ越してきた人も気軽に関われるようなまちにしたい」など、顔の見える繋がりがづくりや、幅広い住民の関わるまちづくりに取り組む町会・自治会もあります。

地域の課題解決に向けて積極的にチャレンジを行う町会・自治会を対象に、仕事の経験やスキルを活かした社会貢献活動「プロボノ」で会の活動基盤強化を支援する『2021年度 地域の課題解決プロボノプロジェクト』の実施にあたり、入門講座を実施しました。支援内容の説明に加え、自団体の課題の棚卸しと整理を行う「課題整理ワークショップ」を同時開催しました。また、オンライン開催にあたっては、事前に遠隔ビデオ会議ツール「Zoom（ズーム）」の使用方法に関する Zoom 勉強会を実施し、オンライン会議に不安のある参加者が接続操作の事前確認ができる場を設けました。

#### 2. 実施概要

##### ○開催日時と開催場所

- ・第1回 2021年 6月 9日(水) 10:00-12:00 (9:30アクセス開始)  
オンライン (Zoom) 開催
- ・第2回 2021年 6月 26日(土) 13:00-16:00 (13:00アクセス開始)  
オンライン (Zoom) 開催  
※課題解決ワークショップを、オンライン活用を見据えた「1DAYデジタル活用ワークショップ」として開催
- ・第3回 2021年 7月 7日(水) 10:00-11:30 (9:45開場)  
会場開催：新宿NSビル 3階 3-J会議室 (新宿区西新宿2丁目4番1号)

##### <事前Zoom勉強会>

- ・第1回 2021年6月4日 (金) 10:00-11:30
- ・第2回 2021年6月22日 (火) 13:00-14:30  
いずれもオンライン (Zoom) 開催

○開催スケジュールとプログラム内容

・オンライン開催

内容	時間
1. 本日の流れ、開会挨拶	5分
2. 地域の課題解決プロボノプロジェクトについて	55分
3. 休憩	5分
4. 課題整理ワークショップ	55分
5. まとめ、閉会	5分

・会場開催

内容	時間
1. 本日の流れ、開会挨拶	5分
2. 地域の課題解決プロボノプロジェクトについて	35分
3. Q&A	10分
4. ゲストトーク①	15分
5. ゲストトーク②	15分
6. ゲストトークQ&Aまとめ、閉会	10分

○事前の告知方法

- ・ 区市町村担当窓口を通じたチラシ配布（区市町村担当者向け説明会を5月19日（水）10:00-11:30に開催）
- ・ サービスグラントを通じた過去イベント申込者宛のメール配信

○応募の受付方法

- ・ サービスグラント宛に所定の申込用紙をメール、FAX、またはフォームにて申し込み

3. 参加人数

	団体数		人数		
	申込	参加	申込	参加**	
6月9日（水）	18	<b>18</b>	21	<b>21</b>	<b>(10)*</b>
6月26日（土）	20	<b>18</b>	25	<b>24</b>	<b>(10)</b>
7月7日（水）	29	<b>23</b>	35	<b>29</b>	<b>(-)</b>
合計	67	<b>59</b>	81	<b>74</b>	<b>(20)</b>

\*参加人数欄（ ）：事前 Zoom 勉強会参加人数

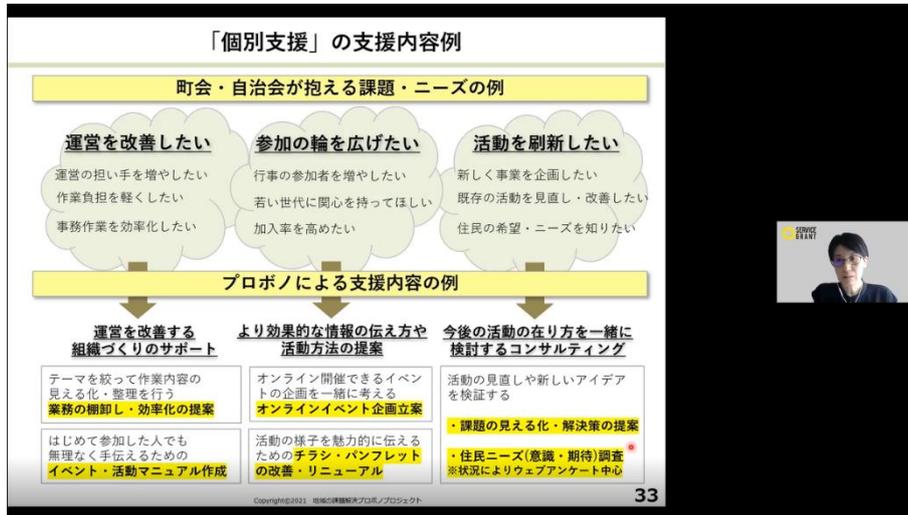
#### 4. 当日の流れ

##### ○地域の課題解決プロボノプロジェクトについて

プロボノの語源から本プロジェクトの概要、支援内容、支援申し込みの流れまでを参加町会の皆様に説明しました。

【写真】地域の課題解決プロボノプロジェクトについての説明

・オンライン開催



・会場開催



##### ○課題整理ワークショップ（オンライン開催回のみ実施）

ワークショップの目的や進め方を説明したのち、ファシリテーターの案内のもと、町会・自治会の皆さまが運営に関する課題を挙げ整理しました。

##### ・課題整理ワークショップの目的

団体が抱える課題の中にはプロボノによる支援が適切なものやそうでないものがあります。また、様々な課題を抱える中で課題解決の優先順位を団体がつけにくい場合があります。

ます。そのため、プロボノの支援を受ける前に、支援に関心のある団体を対象にワークショップを行いました。

プロボノによる支援が可能な自団体の課題は何か検討することで、プロボノによる支援を受ける準備を整えることが本ワークショップの目的です。

なお、6月26日開催回については「1DAY デジタル活用ワークショップ」として、自団体内のオンライン活用に関心が高い団体について、課題整理を実施しました。

## ・課題整理ワークショップの全体構成

### ワーク① 組織課題の棚卸・整理

- ステップ1 課題の棚卸
- ステップ2 中長期的な目標の設定
- ステップ3 課題の整理

### ワーク② 組織課題の解決策の検討

- ステップ4 「重要度が高い」課題の解決策の考案
- ステップ5 「重要度が高い」課題の解決策の分類
- ステップ6 結果の共有

## ・ワークショップの内容

A4サイズで印刷し、「町会・自治会名」「1. 中長期的な目標」「2. 現在の課題」について、事前の書き出しをお願いします。

町会・自治会名 ( ) ワークシート1

1. ご自身の町会・自治会の、中長期的な目標は何ですか。団体としての使命を果たすために、**具体的な目標としてどのようなことが考えられるか、箇条書きで書き出してみてください。(1行ずつ、1~2件程度)**

例・町内の高齢の方みなが町会でつながっている ・外国人の住民の方にも広く知られる町会になる 等

※緊急度・重要度の筆跡記入は不要です。

課題番号	2. 現在の、町会・自治会における課題は何ですか。今、団体として、困っていること・解決したいことを、思いのままに、書き出してみてください。(すべて埋まらなくても構いません。)	緊急度	重要度
例	災害の時に助け合いができるか不安	○	○
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

課題整理ワークショップでは、ワークシートを使用します。ワークシートは団体ごとに事前に準備しました。団体として困っていることや解決したいことなどの課題をワークシートに記入します。こうすることにより、漠然としていた課題や、日々の業務によって忙殺されていた悩みが整理・棚卸されるとともに、課題が可視化されることによって、解決策の検討に進むことができます。

次に、団体の「こんな町会・自治会の姿がよいのではないか」という中長期的な目標を箇条書きで記入します。具体的な目標を記入することにより、多くの課題の中から闇雲に取り組むのではなく、どの課題解決から着手する必要があるか、緊急度と重要度の四象限の中で優先順位を検討することができます。また、重要度の高い課題について「それぞれに、どのような解決策が考えられるか」「全体として、どのような解決策が有効と考えられるか」を、書き出しました。

さらに、書き出した課題の解決策につい

A4サイズで印刷し、お手元にご用意ください。

町会・自治会名 ( ) ワークシート2

【重要度高】課題番号	解決策	解決策の分類	備考
例) 2	避難経路や避難所をみんなで定期的に確認するイベントを行う		

「自前で解決できること」「自前では解決できないけど、「お金」があれば解決できること」「自前では解決できないけど、「スキル」があれば解決できること」に分類しました。分類ごとに色分けしたシールを貼ることで、重要度の高い課題とその解決策、解決にあたって必要となるリソースやプロボノ活用の可能性が明確になりました。

## ○プロボノ活用事例紹介（会場開催回のみ）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場開催回のみ、課題整理ワークショップに代えて活用事例紹介を実施しました。

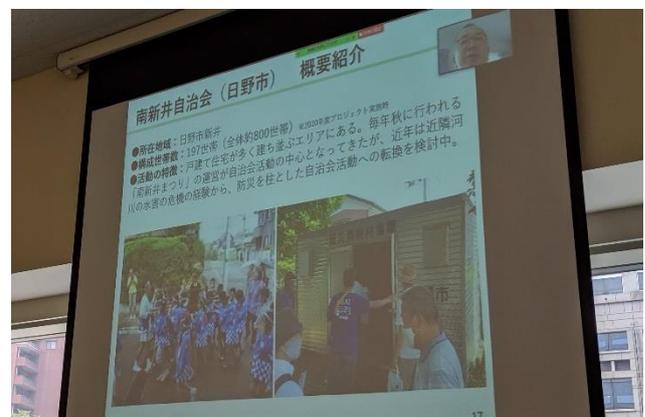
過年度の「地域の課題解決プロボノプロジェクト」においてプロボノによる支援を活用した経験のある団体の代表者をゲストにお呼びして、プロジェクトの様子やそこから得たもの、現在の活動に与えた変化などを伺いました。

### ゲスト

- ・中十条三丁目町会（北区）副会長 佐藤 晃 氏：2020 年度実践講座参加（ホームページ）
- ・南新井自治会（日野市）書記\* 伊藤 裕造 氏：2020 年度個別支援参加

\*プロジェクト実施時

### 【写真】 ゲストトークの様子



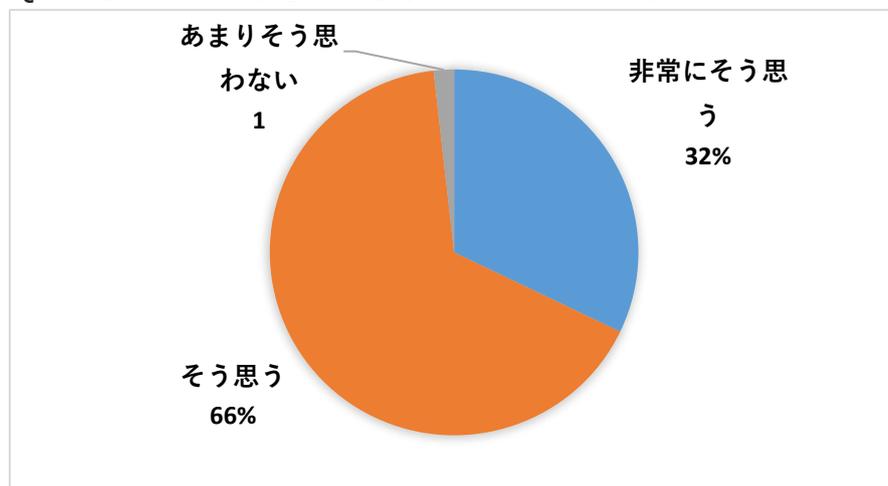
## 5. 参加者アンケート

### ○件数

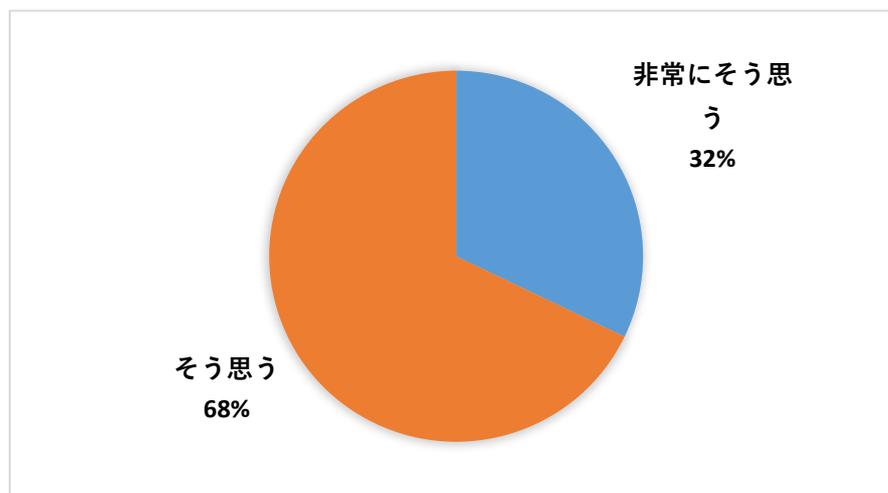
回答数 56 団体（回収率 69.1%）

### ○結果(アンケート集計結果より一部抜粋)

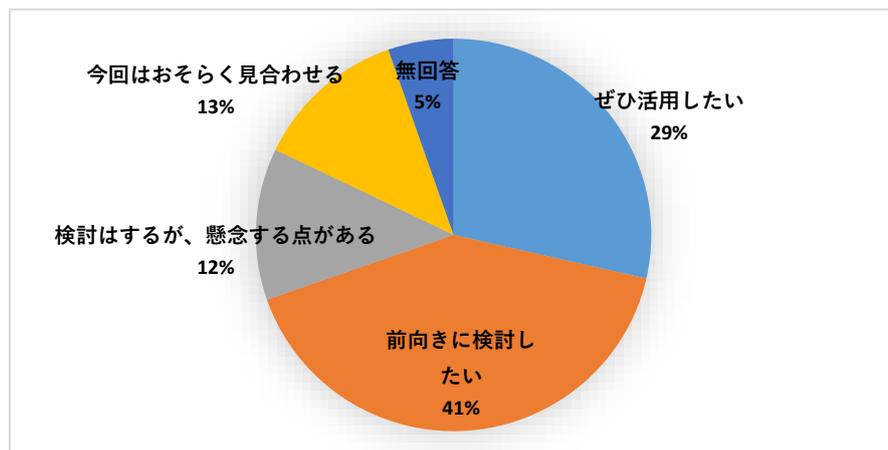
Q: 「事業全体概要」の説明内容について理解が深まりましたか？



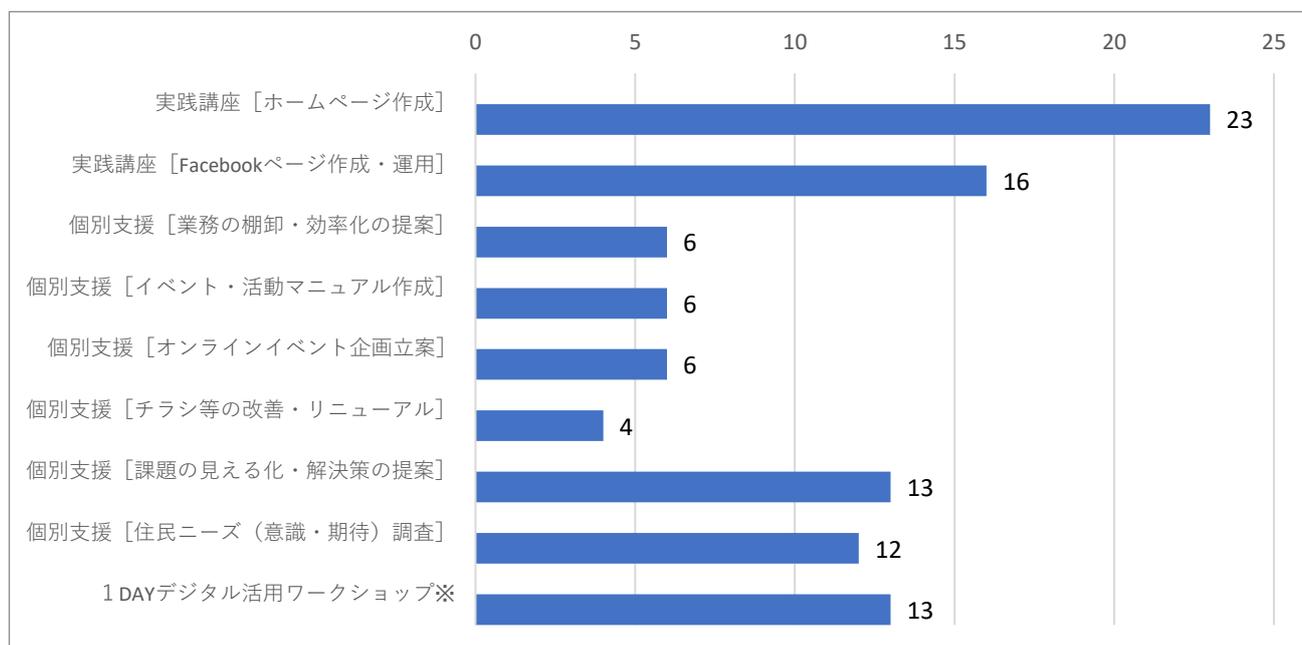
Q: 「支援プログラム」の説明内容について理解が深まりましたか？



Q: 説明をお聞きになり、プロボノ支援を活用したいと思われましたか？



Q: 「ぜひ活用したい」「前向きに検討したい」を選んだ方（39 団体）に伺います。検討されているコースはどちらでしょうか？（複数回答可）



※6月9日、7月7日の参加者のみが選択

### ○本事業について質問や相談事項、ご意見やコメント等（アンケートより一部抜粋）

- ・ 不勉強で、このような充実したプロジェクトの存在を知りませんでした。プログラムに参加して成果を上げている町会・自治会が多いので、当自治会でも、時機を見て（受講できるだけの人材を揃えた上で）活用を検討したいと思っております。
- ・ グループワークの時間が短かった。他のグループの検討内容が知りたかった。
- ・ デジタル Tool、特に PC, Tablet を使ったコミュニケーションを迅速に自治会員に広げていくかも課題。Tool やネットを持っている人が驚くほど少ない。せいぜいスマホでの連絡程度の現状を打破するにはどうすれば良いか。
- ・ プロボノ資料館にアクセスし他の町会における成果事例を拝見し、当町会・自治会の活動に参考にしていきたい。
- ・ 現在、防災マニュアルの刷新が中断しています（コロナを踏まえて）。今後の展開についてご協力いただけますでしょうか。具体的には各家庭で保管できる簡易なマニュアル or 在宅避難の手引き等。
- ・ 大変良い事業だと感じました。機会を見て利用したいと思います。
- ・ 地域コミュニティの活性化と若者の取り込みについてが課題であります。
- ・ 出来るだけオンラインにて参加させていただきたいと思えます。
- ・ 今後とも継続ください、いつの日かお願いする時があると思えます。
- ・ 自分の町会の今後やるべき方向が探れました。
- ・ ホームページや Facebook はもちろんですが、今後は LINE の活用についてご指導ください。

以上